



KAMEDAJIMA

「はにかむエブリデイ」 亀田の郷の縞だより

「はにかむ」=しよしがり(はずかしがり)な亀田の人々、「ハニカム」=自然界に存在する丈夫で美しい亀の甲羅の構造。

強く優しい亀田縞と、この地にくらす人々をイメージしています

令和4年

002

亀田縞利用促進協議会



Person

伊藤 頼子さん

みるみる沢海まちあるきガイド代表

地元愛にあふれる

全方位型地域コンシエルジュ

まち歩きブームの昨今。遠出旅を控えて慣れ親しんだ土地に目を向けてみたら意外な魅力を再発見、という人が増える中、まちの楽しさを教えてくれるガイドさんは気になる存在だ。

伊藤さんは、市民大学に参加して地元の歴史を学ぶ面白さに目覚めると、2014年から案内人を開始。これまでとちがう切り口での案内など工夫を重ねて活動の幅を広げている。

まち歩きガイドには、お客様の興味や旅の嗜好に合わせてどんな話をしたら喜んでもらえるか察知する力が大切で、内容の組み立てには知識もセンスも必要だ。とはいえ名産品からマンホールの模様、パワースポットに至るまで守備範囲は広く、その引出しの豊富さには舌を巻く。

子どもの頃は沢海全体が遊び場で「北方文化博物館の門前の砂利でずっと遊んでいた」生粋の沢海っ子。

ここを訪れる一番おすすめ時期は？

「5月の連休の頃ですね。八重桜が散ってたくさんさんのピンクの花びらが絨毯のように敷き詰める頃です。その後に藤が見事に咲いてあまーい香りが一面に広がります。生で見てもらうのが一番いい、この場所にはなくては味わえない贅沢ですよ」。

肩にはガイド資料が入った亀田縞のトートバッグ。必要なものがコンパクトに収まるサイズ感とモダンな縞柄が気に入っている。「亀田縞のパンツも履いて地元の織物を紹介しています。この布を使って頑張っているデザイナーさんも応援していきたいんです」。

今は他地域のガイドと一緒に明治時代の女性旅行家イザベラ・バードが辿ったルートを研究中。また外国人を案内するため英語を勉強したいそう。地元愛いっぱいのガイドさんはたくさんさんの夢にあふれている。



好きな風景は「小阿賀野川の木津あたり」。川岸には草や木の枝が落ちこんでいて昔ながらのあんまり整備されすぎない自然な雰囲気が残っているのだとか。



特集

よく見たらこんな所に亀田縞

リニューアルした大型スーパーには地元の良品がならび亀田縞もあちこちに。そして常日頃利用しているあの場所にも。知ってるようで知らなかった、実はこんなところで見つけた亀田縞！

2022秋
in
江南区

その1 アピタパワー新潟亀田店

「地域ファースト」をコンセプトに今年7月にリニューアルオープン。館全体に地域色を打ち出す中、実は亀田縞も店内装飾に協力させていただったのでこの機会にご紹介。

ずばり、食品コーナー「ユーストア」に亀田縞モチーフのタペストリーがずらりと並んでいます！新鮮な食材に目を奪われてなかなか周りを気にする余裕はないけれど、時にはぜひ一歩離れたところから全体を眺めてください。一枚ずつ全部違う縞模様になっていることに気がつくはず。

パンやお肉・お魚コーナーには立川織物のかわいらしい縞柄が。野菜・果物コーナーと目玉商品のポップには中営機業の縞が配置されています。おっ！スタッツさんのユニフォームまでも亀田縞！と思ったら、こちらは前から使用しているストライプのエプロンでしたか。縞しまえばいい、みんなで一緒に地元を盛り上げよう、というアイコンにご使用いただいで光栄です。

実は同店がスタートした20数年前、現店長は入社したての社員として勤務していた縁があり、今回は強い想い入れがあるのだとか。「前に新潟にいた時、地元の皆さんにお声掛けしたけどお取り扱いはなだり着けなかった商品を、今回また一軒ずつご挨拶に伺ってお願ひしました」。それにしても亀田縞を取り入れた理由は？

「前は聞いたことなかったけど亀田縞ってあったのかな？今回赴任が決まって落ち着いて周辺を見渡すとあちこちで目にするし、この広報紙も見つけたので、何かできないかと



新潟を代表するせきとりの半身揚げは毎日、ごまうふふは木曜日曜。そのほか江南区や周辺の名物はイベント時など不定期となる。お宝探しの感覚でチラシを要チェック。

はたや

はにかむ 機屋だより

中営機業(有)

とうとう実った事務所のいちじく
そのまま食べても美味しいけど…

事務所にいちじくの木があるのだけど、20数年目の今年、なんとはじめて実がなったのよ。それは嬉しくて。5つ実って今もまだ小さいのが育っているので可愛いわ。自宅の庭のきんかんも実りました。いちじくもきんかんもそのまま食べるけど甘露煮をするのが楽しみです。鍋に果物と砂糖を入れたら水を加えずに弱火でクツクツ煮るとトロっとろけて美味しいのよ。お客様にも喜んでいただいています。



中林 恵利子 さん

今月のイチ押し!

ランチョンマット

リバーシブルのランチョンマットは、食卓シーンにあわせて自由に使える。和料理がおいしそうに見えて和食器がよく映えます。



中営機業(有) 新潟市江南区曙町 1-8-18 | TEL.025-381-5163

大正12年創業。縦織で織り進めるため丈の長い浴衣や着物なども得意。亀田縞の素朴で優しい風合いを生かし、綿、ちぢみ、綿麻、ガーゼなどバリエーション豊富。

亀田縞の2軒の機屋のご主人へよもやまインタビュー。
個性豊かな縞柄を生み出す2人の人柄にふれてみよう、というコーナーです。

今月の
テーマ

フルーツの秋

立川織物

みんな大好きな秋の味覚
ぺろっと食べちゃうさわし柿

最近のわが家のニュースといえば「ただ今外装工事中!」。壁を縞にしようかと少し考えたけど無地にしました。それとわが家はみんな柿が大好きで毎年60kgをさわします。だいたい340個位かな。多いって? 親父がいた頃はもっと多くて100kgだったっけね。柿はそのまま食べるのが一番だよ。「かきのもとと柿とキュウリのスライスをごまドレで合えたサラダも美味しいわよ」
※奥さんのおすすめ秋レシピ、ご参考に。



立川 治秀さん

今月のイチ押し!

カフェエプロン

紺をベースに柿の色が効いた秋らしいエプロン。和の季節感が手もとにあるだけでなんだか気持ちいがほっこりします。



立川織物 新潟市江南区袋津3丁目1-52 | TEL.025-381-3067

迷路のまち、袋津の一角にある明治17年創業の機屋。横織で織り進めるのが特徴で、通常の亀田縞より粗野感のあるための糸で織りあげる。スベック染を行う。

その2

新潟市江南区文化会館

平成24年に開館した江南区のランドマーク。演劇ホールや図書館、郷土資料館、公民館で構成され、芸術にふれたり知識を得られる文化的スポットとして足を運ぶ機会が多いこの建物。実は内壁や外壁モチーフに亀田縞が象徴されているのだとか。

「コンクリート地に縦のノコ目仕上げでついている模様は、亀田の歴史から亀田縞の縞柄もイメージしています。実はいくつかの縞柄のパターンがあるので、見る場所によって違いを楽しめるのがこだわりです」とは江南区産業振興課。

「亀田郷固有の文化を再認識しよう」というテーマで設計デザインされていて、2013年度グッドデザイン賞も受賞。よく見れば外壁も一体感ある縞模様。今まで気づかなかつたけど、この立体感も着物のようにも見えてきた。言われたらそう見えてくるのがまた芸術!? 地元食材を使用したランチやカフェメニューが人気の館内喫茶室の壁にも亀田縞。こちらはカメラ子にもわかります。



新潟県産コーナーは一日中お客様が絶えない。江南区の新鮮野菜のほかジュースや調味料などエリアの美味しいものが集結。亀田縞の模様を目印に、江南区親善大使たちにもご注目。



新潟産の良品はスタッフがセレクト。プライスカースには亀田縞をあしらった目印にしている。また、地元にて特化した商品だけでなく、全国各地の美味しいパンを集めた「パンフェス」も大好評だった。



さっそく亀田縞の組合に相談に行きました。オープンイベントでは製品販売や大人の亀田縞講座を開催した。今後も一緒にできることを模索中なので、乞うご期待。



かんずり、そばなどは種類が豊富。お土産にも便利。



NEWS & INFO

新商品やイベントのお知らせ、プレゼントなど地域の情報を随時募集中！
内容の問合せはすべて亀田縞利用促進協議会広報部へ。

ペットとお揃いで亀田縞着物を楽しむ新サービスを開始

亀田縞によるオリジナル作務衣の創作など着物を身近に感じられる工夫いっぱいの和gen(新潟市中央区古町通7)ではペット用着物を製造(企画販売・和bien)。ペットとペアリングできる新しい着物の楽しみ方として話題に。東京きものサロネでも発表し、同店で購入できる。



一年のスケジュールは亀田縞と共に今年も手帳ができました

新潟手帳が10月1日(土)から発売開始、今年も立川織物のオリジナル縞柄が採用された。シンプルな縞色に赤のアクセントが光る誰が持っても似合う縞柄だ。見やすく書きやすく使いやすい工夫いっぱいで新潟の観光情報も満載。来年の準備はお早め。



「にいがた2km」に亀田縞パラソルセットを設置

新潟市は「にいがた2km」の取り組みとして「東大通「人中心の空間づくり」社会実験」を10月1日(土)～30日(日)まで実施。車道の一部に歩行者が滞在できる休憩場所を設け、ベンチやテーブル、花と緑などにより居心地よい空間づくりがされました。この期間中、新潟駅前の歩道上に亀田縞のパラソルセットを設置しました。立川織物のブルー系と中営機業の小豆色系を1セットずつ。どちらも人気の縞柄で統一感もばっちり。まちなかによく映えてさっそく人気者になりました。宿題をしたり本を読んだり、皆さん思い思いに心地よさそうに過ごしていました。多くの方々に亀田縞を知っていただくよい機会になりました。



虫の被害があるも収穫は例年並み 青山さんの綿花、畑じまい

和綿の収穫も10年目。今年は暑さの影響で芯食い虫が例年より多く、2割くらいの被害を受けたものの例年並みの収穫だった。早通小学校近くの畑じまいは11月20日(日)AM9～10時頃(雨天決行)。汚れてもよい服装でご参加を。収穫した綿の一部はアピタパワー新潟亀田店で展示中。



お好きなタイプでコースをチョイス 締切間近! 袋津三昧まち歩き

11月20日(日)今年も袋津地区のまち歩き「袋津三昧」を開催(雨天決行)。定番の見どころを回るコースやアップダウンの多いロングコースなど3コースからチョイス可。申し込みは～11/12(土)定員に達し次第〆切。参加費1,000円で土産付(中学生以下無料・特典なし)。



先覚に訊く。

亀田縞と同じく、永くこの地で活躍されている
会社やお店の諸先輩を知るコーナーです。

人助けの精神で取り組む地域づくり

地域とともに歩み、喜寿を迎えた小林勲さん。

新潟市江南区自治協議会会長をはじめ、江南区社会福祉協議会理事、大江山地区コミュニティ協議会理事、大江山地域づくり協議会会長を務めています。

—子供の頃のことを教えてください—

当時のこの辺は水が豊かで、若荷谷に続く川などで釣りを遊んだり、稚児池や阿賀野川でよく泳いだりしていましたね。

高校生になると日本赤十字の青年奉仕団に入つて水上安全法、救急法を学び、夏は浜辺の救護所で救助をしていました。

大学時代は東京に住んでおり、生活の糧にいろんなアルバイトをしていた経験が今も生きていて、たまにですが食事の用意も自分でします。

—人生の転機となった出来事はありますか—

大学時代に発生した新潟地震です。新潟行きの客車がなく、救助員の資格証を見せ、貨物列車に乗って帰って来て、その後、寄居町の日赤支部を拠点に救護活動にあたりました。無線で大学の自動車部に連絡してトラックで新潟まで物資を運んでもらったりもしましたね。



小林 勲さん

新潟市江南区自治協議会会長
大江山地域づくり協議会会長

プライベート一問一答

Q1.最後の晩餐、なに食べたい?

「米から粥」。シンプルに米から煮て塩味に卵をかけたおかゆです。

Q2.好きなテレビ番組は?

時代劇と007が好き。ショーン・コネリーが良いねえ。

Q3.よく行くお店は?

市場の市立はよく行くよ。「あさばラーメンのチャーシュー入り」。

Q4.趣味は何ですか?

家庭菜園と草取りかな。若い頃は書道とカメラが趣味でした。石碑や石仏を撮っている心が落ち着きましたね。でもデジタルカメラの時代になり修正できるのが嫌でやめましたね。

—江南区の未来には何が必要ですか?—

私は亀田縞の風呂敷を持っているんですが、こういう取り組みは継続し、産業を伸ばす必要があると思う。それから駅の東口の開発にも関連して高等教育に力を入れ、若い人に来てもらうことも考えたほうがいい。

江南区自治協議会の仕事は、皆さんが毎日生活して困ったこと、こうしてもらいたいという要望を役所に伝えて実現する仲介役。区全体の課題解決に向けて区役所と協働する組織なので、区や市に意見を言いがいい。もっと知られてほしいと思います。

—地域の皆さんに伝えたいことは?—

私は会社員時代に、亀田駅の音声誘導の設計や、新潟市の119番の受付・指令装置を手がけた事があります。若い頃から普段は自分ができることをやり、何かあったら誰かの役に立ちたいと思ってきました。地域に暮らす人々がお互いに自主性を持ち、助け合うことが必要だと感じています。

お気に入りの亀田縞

亀田繊維工業協同組合のホームページでみなさんの亀田縞の作品を募集中。洋服、アクセサリやバッグなど。デザイナー、作家さんの作品から、街で買った、自分で作った、お気に入りの亀田縞を教えてください。昔の物でも今の物でもOK。ご応募お待ちしております!

■投稿はこちら

<https://kamedajima.net/showcase>

綿麻の羽織コート

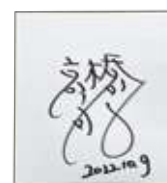
今回は大阪の百貨店で出会った会社員(26歳)のお客様です。「亀田縞…亀田? 人の名前ですか?」コレ亀田縞あるある、特に関西でよくある反応。えーと町の名前なのです。洋服は「手持ちとのバランスをよくよく考えて買う慎重タイプ」だけど「他にないデザインでずっといろいろ着られそう」と一期一会の機会にご購入。自然なしわ感が気に入り綿麻の若々しい淡いブルーをチョイス。辛子色のインナーとの相性もバツグンでした。



はにかむ for the future 活動日記

新潟シティマラソンのゲストランナー高橋尚子さんに
亀田縞の贈り物でおもてなし

10月9日(日)、曇り時々晴れのマラソン日和に、新潟シティマラソンが4年ぶりに開催されました。ゲストランナーは2012年から毎年お迎えしている高橋尚子さん。ランナーたちを見守り応援してくれる高橋さんに感謝の気持ちを伝えるための贈り物として、亀田縞のストールが選ばれました。季節を問わずに使えるサイズ感と、どんなコーディネートにも合わせやすいホワイトの品をプレゼントしたところ、とても喜んでいただけて、お帰りの際にも着用されていました。知ってもらえればきっと気に入ってもらえる亀田縞。これからもたくさんの方々へ魅力を伝えられるよう取り組んでいきます。



オーガニックコットンのからみ織ストールは白、手ぬぐいマフラーは水色をチョイスしました。



KAMEDAJIMA

江戸時代後期、当時日本最北の木綿栽培地だった新潟県の亀田郷で、腰まで泥につかる過酷な米作りを支えるため、丈夫で汚れに強く、しかも美しい縞柄の綿織物「亀田縞」が誕生しました。大正期にかけて全盛期を迎えた亀田縞は、時代の変遷で一度は途絶えましたが、消滅から半世紀を経て、現在も残る2軒の機屋により復活しました。従来の素朴であたたかい風合いと丈夫さに加え、特色である独特の肌ざわりのよさ、現代生活になじむしなやかさを兼ね備えた布として注目されています。



提供: 亀田郷土地改良区 / 撮影 本間喜八氏

はにかむ 編集後記

この仕事に関わって以来、ストライプを見ると何でも亀田縞に思えてしまう私です。まちなかの横断歩道はもちろん、テレビの動物番組に出ていたシマウマも亀田縞に思えて仕方ありません。そんな私ですが今シーズンのアルビレックス新潟のリーグ優勝とJ1復帰には涙しました。アイシテルニイガタ。記念すべき年のユニフォームも、オレンジにブルーのピンストライプ。私に言わせれば亀田縞です。いつの日か、アルビの公式グッズとして亀田縞とのコラボ商品が生まれたらいいなと思う私でした。(スタッフ)

亀田の郷の縞だより はにかむエブリデイ002

■発行: 亀田縞利用促進協議会 / 亀田繊維工業協同組合

〒950-0134 新潟市江南区曙町3-6-1 TEL.025-381-4105 公式サイト <http://kamedajima.net/>

■初版発行: 2022年11月1日 ■企画編集: パクチープラス 佐藤洋子 酒井祐介 石井達

Blogも更新中!

亀田縞通信はにかむエブリデイ
<https://kamedajimashimashima.jimdofree.com>

情報、投稿
ご意見はこちら



Instagram | @kamedajima_kamedajima



Facebook | 亀田縞-kamedajima

